

2018.3.22

---

# 2017年10月～2018年2月 生鮮野菜高騰の影響

～代替購入されたカテゴリーは？～

---

出典：KSP-POS(全国食品スーパーマーケットPOSデータ/速報店)を基に分析

\* 本資料は弊社Webサイトに掲載の [オープンデータ利用規約] を遵守し利用願います。

2017年冬は生鮮野菜が高騰し、家計を直撃。野菜関連カテゴリーの動向から、主に冷凍野菜やもやし、きのこ類が代替購入されたと思われる。

●売上が大幅に伸びた商品

冷凍ブロッコリー、冷凍ほうれん草、冷凍おくら、冷凍ねぎ、  
カット野菜、もやし、きのこ類全般(しめじ、えのき茸、まいたけ等)

●売上が若干伸びた商品

冷凍えだまめ、冷凍野菜ミックス、冷凍さといも、冷凍いんげん、  
冷凍そらまめ

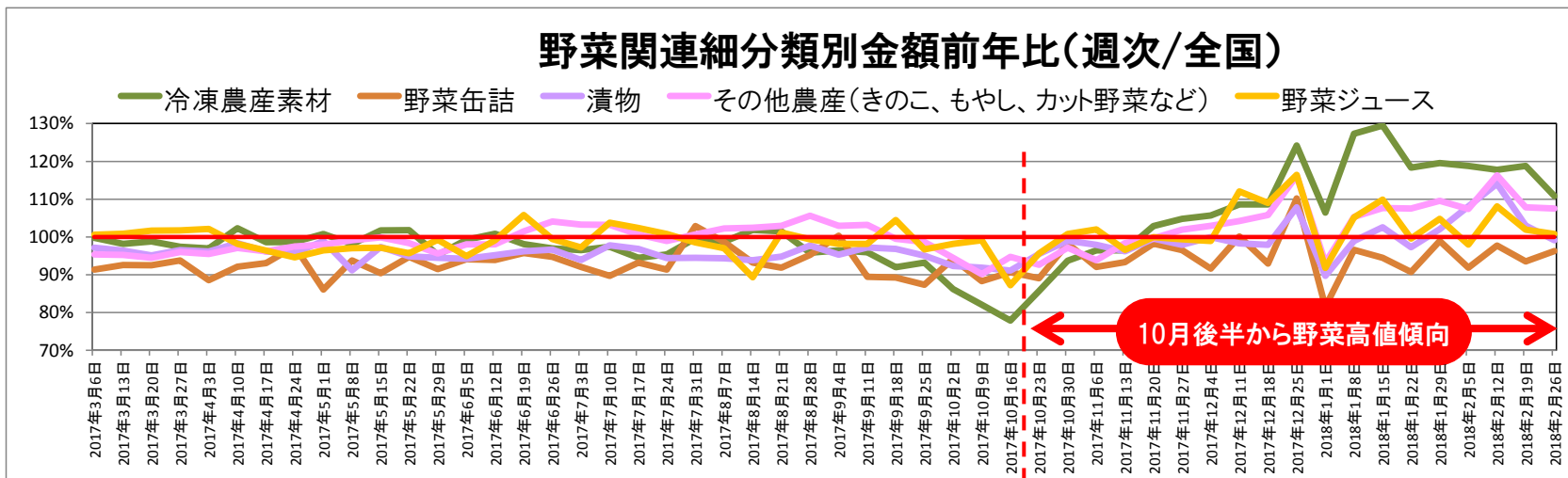
鍋物つゆは好調なことから、価格が高騰した葉物野菜から、もやしやきのこ中心の鍋メニューに切り替えた様子がうかがえる。



## 野菜関連カテゴリーの動向から、下記が推測される。

**代替購入が推測される：冷凍農産素材、その他農産**  
**若干影響が見られる：漬物、野菜ジュース**  
**あまり影響が見られない：野菜缶詰**

期間：2017年3月6日週～2018年2月26日週



細分類名称	2017年																								2018年																														
	3/6	3/13	3/20	3/27	4/3	4/10	4/17	4/24	5/1	5/8	5/15	5/22	5/29	6/5	6/12	6/19	6/26	7/3	7/10	7/17	7/24	7/31	8/7	8/14	8/21	8/28	9/4	9/11	9/18	9/25	10/2	10/9	10/16	10/23	10/30	11/6	11/13	11/20	11/27	12/4	12/11	12/18	12/25	1/1	1/8	1/15	1/22	1/29	2/5	2/12	2/19	2/26			
冷凍農産素材	100%	98%	99%	97%	97%	102%	99%	99%	101%	98%	102%	102%	95%	99%	101%	98%	97%	97%	97%	95%	95%	100%	99%	102%	102%	96%	96%	96%	92%	93%	86%	82%	78%	86%	94%	96%	96%	117%	113%	112%	112%	105%	106%	109%	109%	124%	106%	127%	129%	118%	120%	119%	118%	119%	111%
野菜缶詰	91%	93%	93%	94%	89%	92%	93%	97%	86%	94%	90%	95%	92%	94%	94%	96%	95%	92%	90%	93%	91%	103%	99%	93%	92%	95%	100%	89%	89%	87%	94%	88%	91%	89%	98%	92%	93%	98%	93%	97%	92%	100%	93%	110%	82%	97%	95%	91%	99%	92%	98%	94%	96%		
漬物	97%	96%	95%	97%	96%	98%	96%	96%	99%	91%	97%	95%	94%	94%	95%	96%	97%	94%	98%	97%	94%	94%	94%	94%	95%	98%	95%	97%	97%	95%	92%	92%	91%	96%	99%	98%	96%	100%	98%	100%	98%	98%	108%	90%	99%	103%	97%	102%	108%	114%	103%	89%			
その他農産(きのこ、もやし、カット野菜など)	95%	95%	95%	96%	95%	97%	96%	98%	98%	99%	100%	98%	98%	98%	101%	104%	103%	103%	101%	99%	101%	102%	102%	103%	106%	103%	103%	100%	99%	95%	90%	95%	93%	97%	94%	98%	100%	102%	103%	104%	106%	116%	93%	105%	108%	108%	110%	107%	116%	108%	108%				
野菜ジュース	101%	101%	102%	102%	102%	98%	96%	95%	96%	97%	97%	96%	99%	95%	99%	106%	99%	97%	104%	102%	101%	99%	97%	89%	101%	99%	98%	98%	105%	97%	98%	99%	87%	96%	101%	102%	97%	100%	99%	99%	112%	109%	116%	92%	105%	110%	100%	105%	98%	108%	102%	101%			

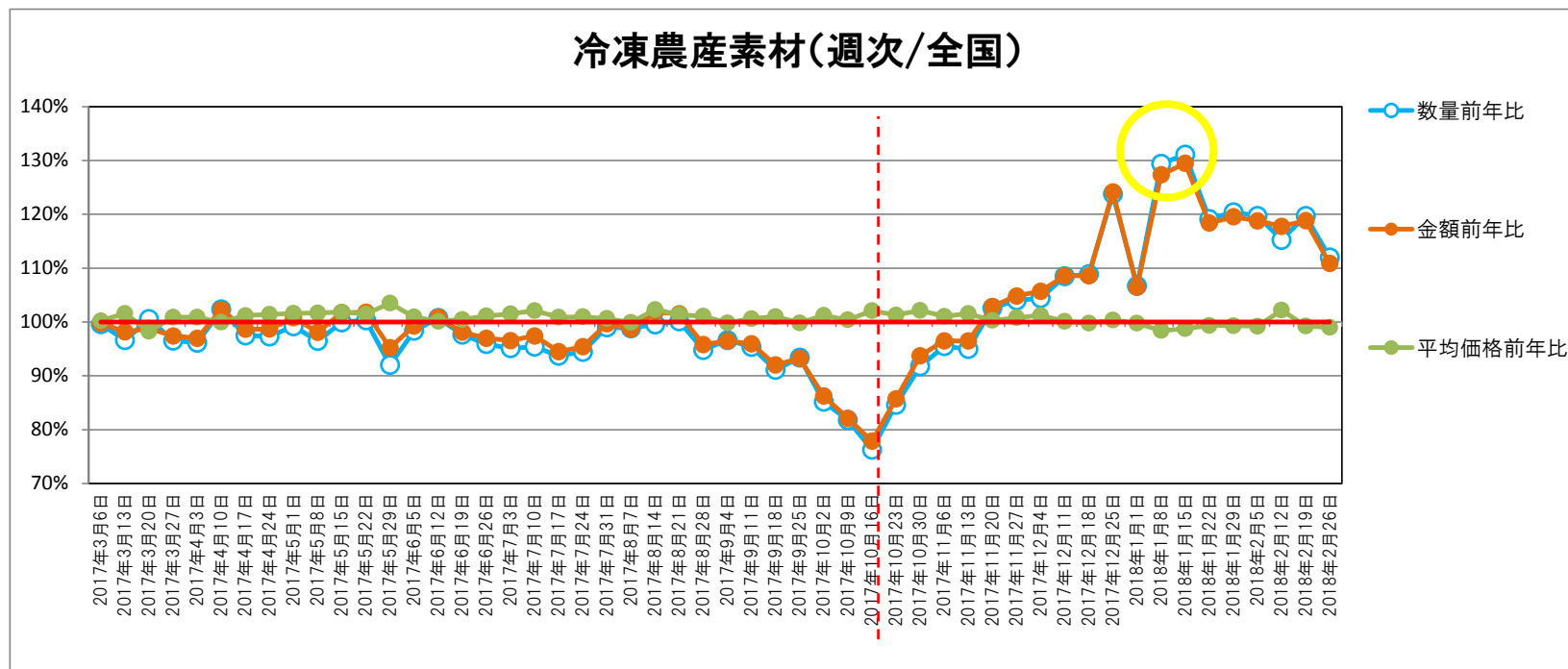
出典：KSP-POS

\*12月25日週、1月1日週は前年との曜日回りの違いで前年比が極端に下降。

冷凍農産素材(冷凍野菜)の平均価格はほぼ前年並みで推移。  
 2018年1月8日週、1月15日週は金額・数量とも前年比130%弱  
 となった。

⇒特に売上が伸びた野菜は何か?(次ページ)

期間：2017年3月6日週～2018年2月26日週

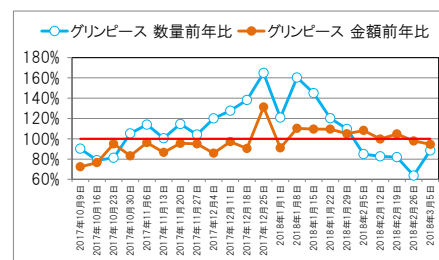
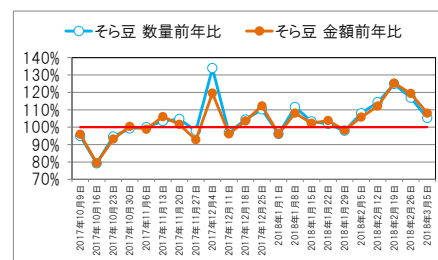
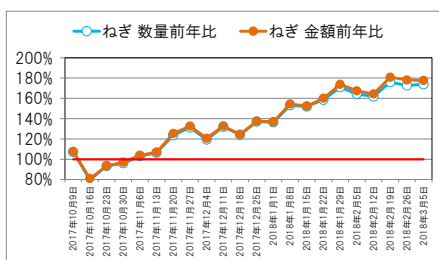
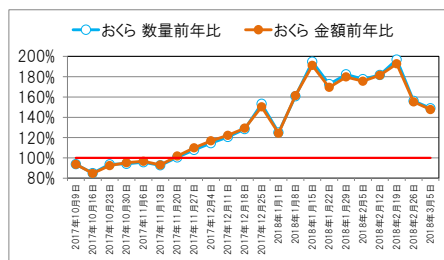
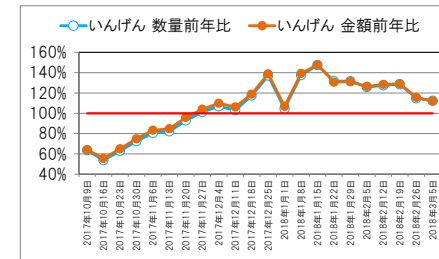
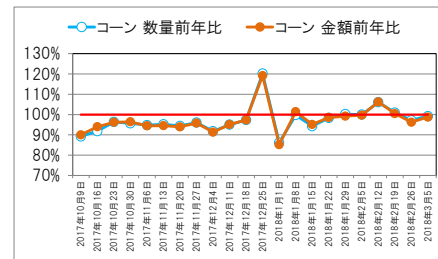
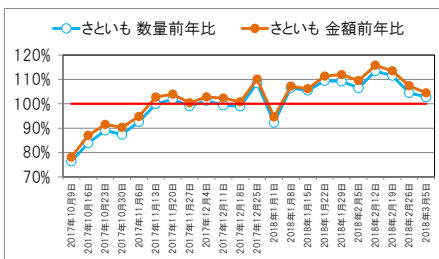
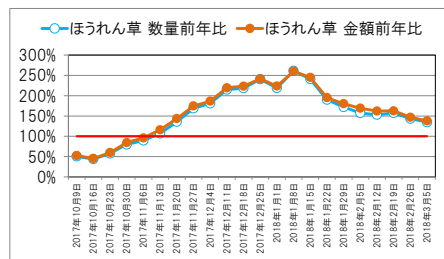
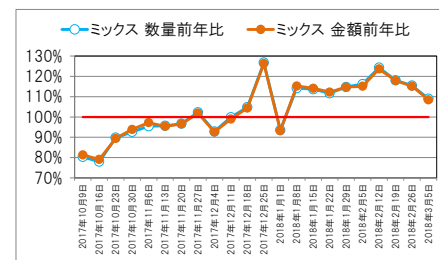
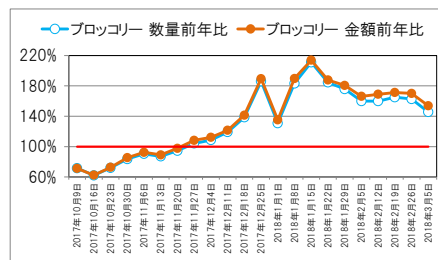
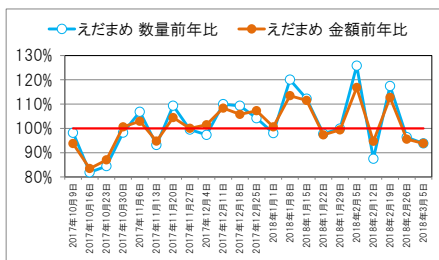
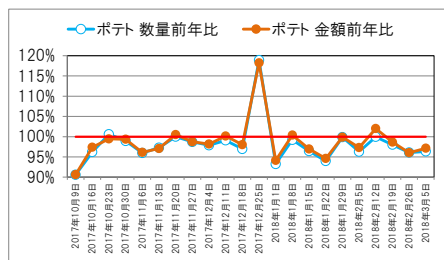


出典：KSP-POS

## 主要素材別の推移は以下の通り。

**大幅プラス: ブロッコリー、ほうれん草、おくら、ねぎ**  
**プラス: えだまめ、ミックス、さといも、いんげん、そら豆**  
**影響は見られない: ポテト、コーン、グリーンピース**

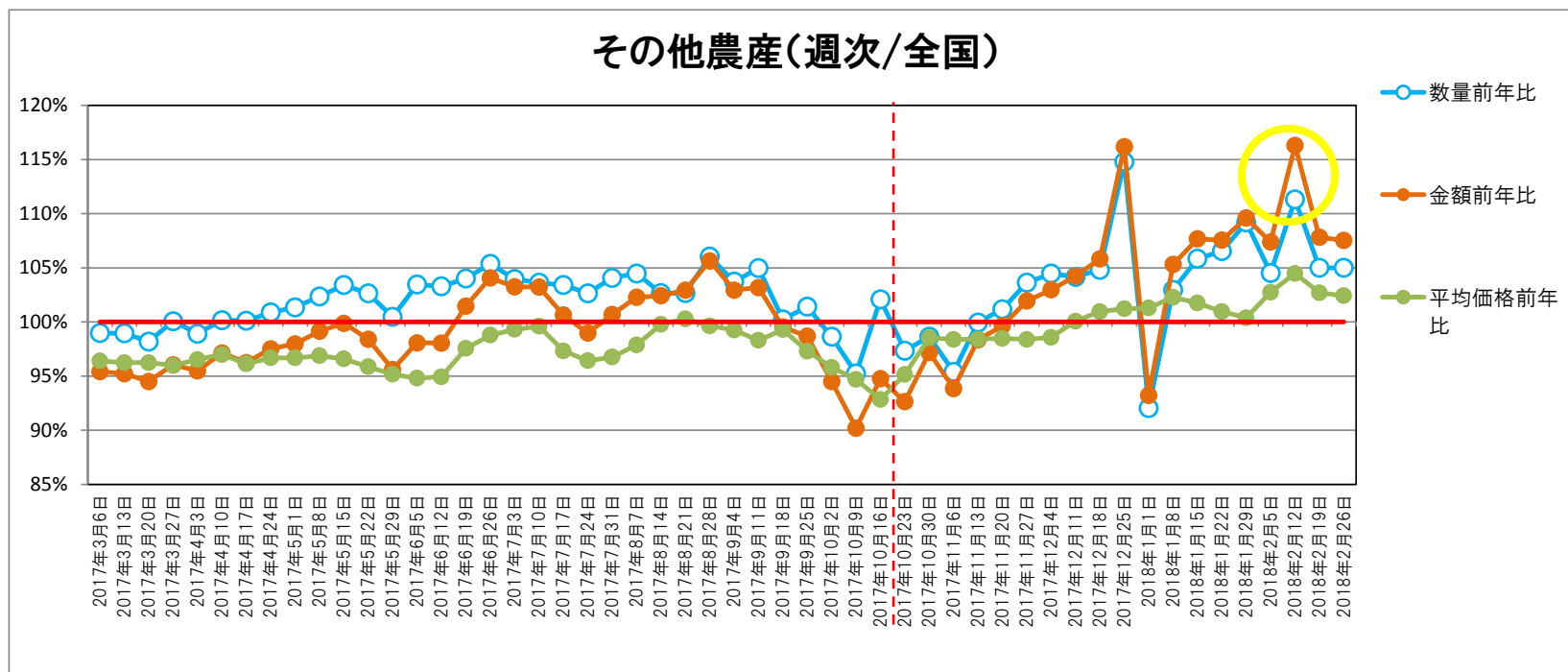
期間：2017年10月9日週～2018年3月5日週



その他農産の平均価格は、生鮮野菜高騰と同じタイミング(10月下旬以降)で前年比プラス傾向へ。2018年2月12日週は金額前年比116%となった。

⇒特に売上が伸びた野菜は何か?(次ページ)

期間：2017年3月6日週～2018年2月26日週



出典：KSP-POS

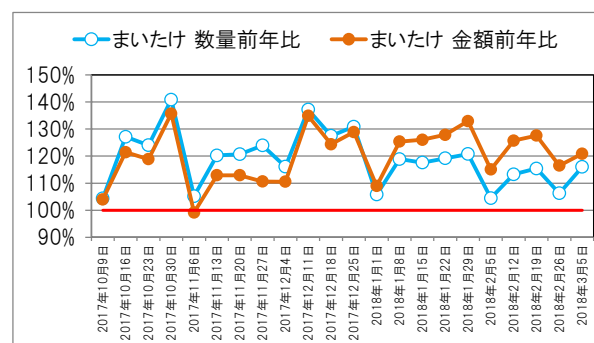
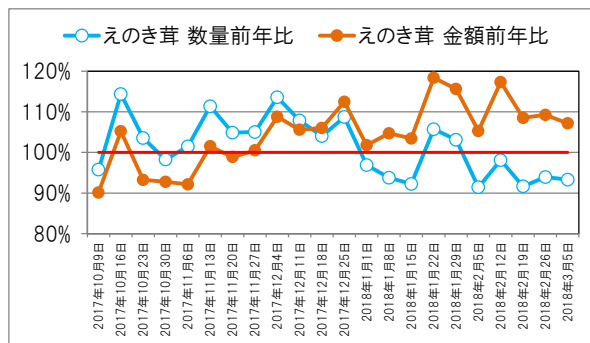
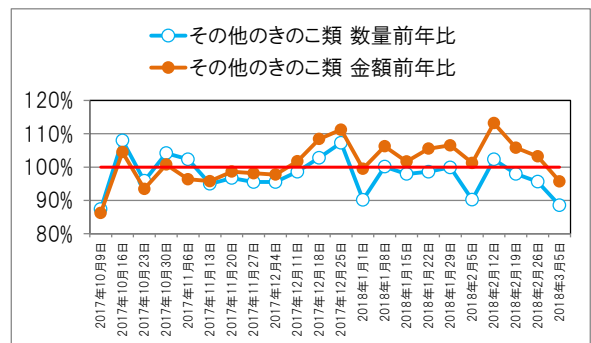
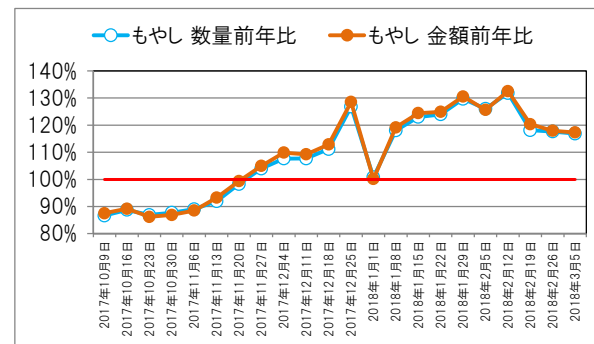
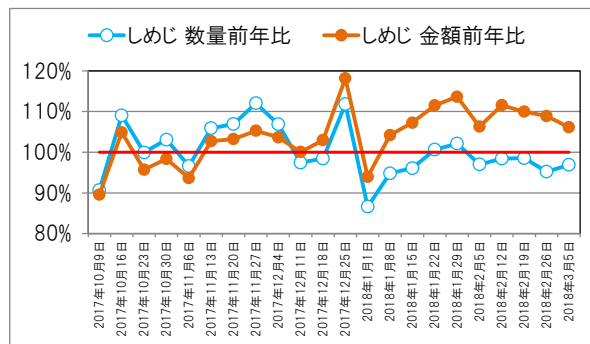
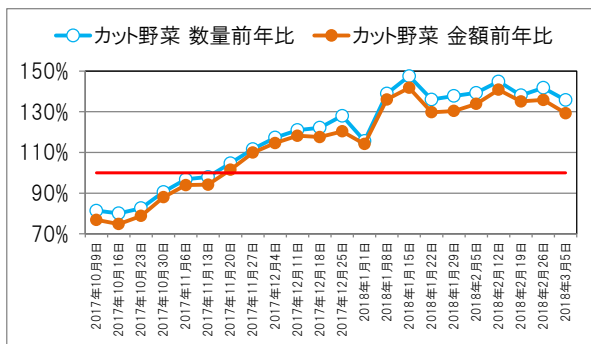
## 主要素材別の推移は以下の通り。

**大幅プラス: カット野菜、しめじ、もやし、えのき茸、まいたけ**

**プラス: その他のきのこ類**

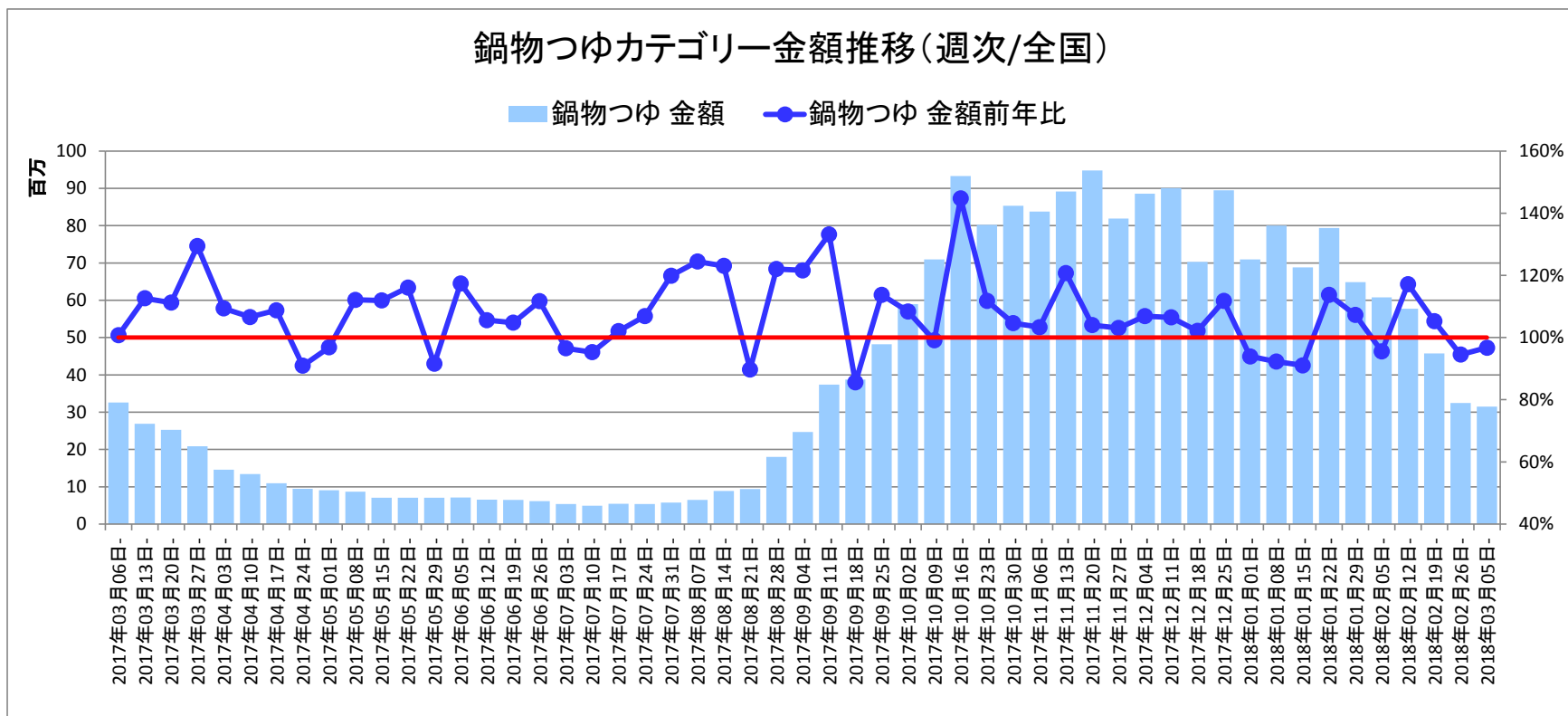
**影響は見られない: なし**

期間：2017年10月9日週～2018年3月5日週



今秋冬、鍋物つゆは前年並み～プラスで推移。野菜高騰の影響で、鍋メニューが食卓から姿を消したということではない模様。

期間：2017年3月6日週～2018年3月5日週



株式会社KSP-SP (Knowledge on Sales Promotion Service Provider) は、「店頭」を活性化するために常に新鮮なデータ、ノウハウとシステムの開発・提供をめざす会社です。お客様の店内購買決定率は約80%とも言われております。“売り”を作る上で製品と顧客の接点である店頭の提案・開発が益々重要となってきております。当社は食品スーパーのPOSデータ・店頭情報、豊富な活用事例、並びにオリジナルな分析手法を元に、メーカーと流通の双方にニュートラルな消費者視点からデータ提供・レポートを行い、皆様の適正な収益向上、提案力向上に貢献してまいります。当社は、それらを通じて従来の「カンや経験に基づく営業・マーケティング」から「科学的根拠に基づく戦略・戦術」への転換や、業務を効率的に運用するお手伝いをしてまいります。

株式会社KSP-SP

〒105-0013 東京都港区浜松町1-2-1 一光浜松町ビル4階

お問い合わせダイヤル 03-5472-7652

本レポートに関するお問い合わせ [ksp-info@ksp-sp.jp](mailto:ksp-info@ksp-sp.jp)



<http://www.ksp-sp.com/>

■免責事項

- ・掲載データの性格上、正確性、完全性、最新性、有用性または特定の目的についての適合性については、当社は保証しておりません。
- ・掲載データの利用により損害が生じた場合、いかなる場合においても当社は一切の責任を負いません。